

各府省庁の食堂・売店における被災地産食品の消費状況について

平成25年6月12日
農林水産省

1. 食堂・売店数（平成25年3月末時点）

	店舗数	被災地産食品の消費実績あり
本府省庁	89カ所	80カ所
出先機関	1,316カ所	722カ所
計	1,405カ所	802カ所

2. 被災地産米の消費状況（平成23年3月～平成25年3月）

	被災地産米消費量		主な被災地産米の産地（累計）
	24.11～25.3	累計	
本府省庁	172トン	499トン	福島：176トン、茨城：128トン
出先機関	1,677トン	6,660トン	福島：1,750トン、茨城：1,336トン
計	1,849トン	7,160トン	福島：1,927トン、茨城：1,464トン

3. 被災地産食品（米を除く）の消費状況（平成23年3月～平成25年3月）

	被災地産食品の品目数（今調査）			
		青果物	畜産物	水産物
本府省庁	1,017品目	846品目	114品目	57品目
出先機関	937品目	805品目	63品目	69品目
計	1,694品目	1,419品目	156品目	119品目

（備考）

1. 庁舎内で営業する食堂・売店のうち調査に協力をいただいた食堂・売店のデータである。
2. 被災地の範囲は、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、栃木県、群馬県の8県のほか、食堂・売店が被災地支援と銘打って利用販売した食品の生産県である。
3. 今回調査の被災地産米消費量には、ブレンド米であって産地名と数量が確認できるものを含む。
4. 被災地産食品の品目数は、重複を除いたため、“本府省庁と出先機関の和”と“計”は一致しない。